

離職の状況③

- 訪問介護員、介護職員とも職場の人間関係への不満、収入の少なさ、事業所のあり方への不満が離職の主な原因となっている。
- 正社員は収入の少なさ、将来の見通しが立たないため離職する割合が比較的高く、非正社員は結婚など自分・家庭の事情で離職する割合が比較的高くなっている。

(1) 前職を辞めた理由(介護労働者の職種別)

	収入が少な かったため	職場の人間 関係に問題 があったた め	事業所の理 念や運営に 不満があっ たため	自分の将 来の見込 みが立たな かったため	他に良い仕 事・職場が あったため	結婚・出産・ 妊娠・育児 のため	人員整理・ 法人解散・ 事業不振 等のため
訪問介護員	<u>19.3%</u>	<u>24.7%</u>	<u>18.2%</u>	13.4%	19.6%	11.7%	8.3%
介護職員	<u>26.9%</u>	<u>24.9%</u>	<u>24.2%</u>	20.8%	20.4%	9.8%	6.8%

(2) 前職を辞めた理由(介護労働者の就業形態別)

	収入が少な かったため	職場の人間 関係に問題 があったた め	事業所の理 念や運営に 不満があっ たため	自分の将 来の見込 みが立たな かったため	他に良い仕 事・職場が あったため	結婚・出産・ 妊娠・育児 のため	人員整理・ 法人解散・ 事業不振 等のため
正社員	<u>23.9%</u>	23.7%	25.4%	<u>20.9%</u>	22.1%	8.8%	7.1%
非正社員	16.9%	21.3%	19.1%	11.0%	15.4%	<u>15.8%</u>	6.7%

((1)及び(2)の出典)平成20年度介護労働実態調査((財)介護労働安定センター) ※ともに複数回答